



2017 | 直富商事株式会社
CSR報告書

NAOTOMI
Corporate
Social
Responsibility
Report 2017

🌿 経営理念

地域に愛され、必要とされる会社とする。
社員が物心共に幸福と思える会社とする。

🌿 行動指針

安全・遵法第一、営業第二。
全てにおいて、常に顧客目線で考え、行動する。
責め心の無い厳しさ、馴れ合いでない優しさを持ち続ける。

🌿 会社概要

社名(商号)：直富商事株式会社
本社所在地：〒381-0022
長野市大字大豆島3397番地6
法人設立：昭和50年3月10日(創業昭和23年)
資本金：45,000千円
売上高：95億29百万円(2018年2月末現在)
従業員数：529名(2018年2月末現在)

編集方針

本報告書は、直富商事の全事業について掲載するとともに、環境および社会的側面における活動実績を報告しています。

◆報告範囲

対象期間：2017年度
(2017年3月1日から2018年2月28日まで)
ただし、一部で当該年度以外の取り組みや活動内容も記載しています。

◆発行年月

2018年5月発行

◆発行責任部署および連絡先

直富商事株式会社 総務部
TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881

🌿 CONTENTS

経営理念	2
行動指針	2
会社概要	2
編集方針	2
トップメッセージ	3
Highlight	4
事業紹介	6
朝礼委員会活動報告	8
遵法への取り組み	10
安全衛生への取り組み	12
環境への取り組み	14
地域・社会とのかかわり	18
社員とのつながり	20

CSRを行う上で最も重要なのは、
自ら倫理的行動を起こす、
また倫理的行動を
起こさせる気持ちです。

昨年春、弊社ドライバーが路肩で走行困難となっていた乗用車を救出しました。秋になって救出された方が自ら収穫されたおいしいリンゴをお礼と言って届けてくれました。時間が経っても覚えてくれていた、その方のその心に深い感銘を受けましたが、勤務中に救出した弊社のドライバーも立派なものでした。弊社では年に何度かこのような事例の報告があります。助けられた、又は手伝ってもらった等のお礼の電話を会社へいただきます。

自ら倫理的行動を起こす、また倫理的行動を起こさせる気持ちこそがCSRを行う上でまずは極めて大事であると思います。そう考えると、弊社には倫理観が高い社員が多く在職していると言え、CSR活動を更に高める土台があるとも言えると思います。

前置きがずいぶん長くなりましたが、弊社は昨年度労働環境の改善のために、産廃秋古工場で新工場建設工事を着工しました。2018年12月末完成の予定です。本社工場にはミスト噴霧設備を導入し、健康被害を防ぐと共に環境面も改善しました。

「イクボス・温かボス宣言」と「社員の子育て応援宣言」をし、また産休延長等長く働きやすい職場作りにも取り組んでおります。更にトラック等車両及び設備の入れ替えも積極的に行っており、結果として環境負荷低減に貢献しております。

地域においてはごみゼロ活動への参加、子供の相撲大会や野球大会等への後援、地元地区住民の皆様との環境懇談会の実施、中国から小学生を長野へ招いての交流活動等を継続しています。

引き続きCSR活動に積極的に取り組んでまいりますので、どうぞ今後とも直富商事をよろしくお願いたします。

直富商事株式会社 代表取締役社長

木下 繁夫





リサイクル資料館 「なおとみ資源の森」開設

リサイクルの重要性について学べる場として、リサイクル資料館「なおとみ資源の森」を開設しました。

身近な資源や廃棄物が様々な方法でリサイクルされていく過程を知っていただくことで、資源と廃棄物の繋がりやリサイクルの大切さについての理解がより深まります。



公益財団法人 産業廃棄物処理事業 振興財団の産業廃棄物処理 助成事業に選定されました

技術研究室は2017年10月に研究課題「安価な近赤外線装置を使用した廃棄物測定技術の開発」を公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団の産業廃棄物処理助成事業に応募し、2018年3月に選定されました。

この度の助成金を活用し、主に電線ケーブルのリサイクル処理工程で発生する被覆材くずのリサイクル率向上に向けて研究開発を進めています。



市場事業所に ペットボトル前処理機を導入

市場事業所に、ペットボトル前処理機を導入いたしました。

今回導入した前処理機に投入されたペットボトルは圧縮により飲み残しが脱液され、キャップの選別も自動化されています。これにより作業効率が大幅に向上され、省エネ・省力化に繋げることができました。加えて、前処理機でペットボトルが圧縮されているため、後工程の圧縮・結束における機械負担が軽減され、一連のリサイクル工程の効率が大幅に向上されました。

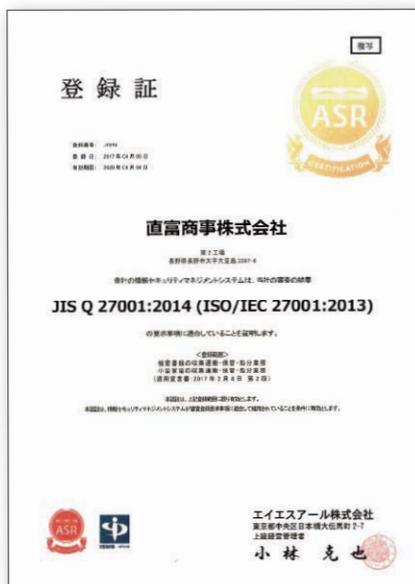


収集車両に 「AMSOIL (アムズオイル)」 を採用

収集車両の一部に「AMSOIL (アムズオイル)」を採用し、使用しています。

AMSOIL とは、世界最高峰と言われる非常に高性能な米国製化学合成オイルで、高い潤滑性と耐熱性を備えています。

従前使用のオイルと比較し燃費はそれ程変わらないものの『排ガスのクリーン化』『パワーロスが少ない』『オイル交換回数やエレメント交換頻度の減少』等々、環境配慮やコスト削減などにメリットがあります。



情報セキュリティ マネジメントシステム 「ISO27001 (ISMS)」の 認証取得

情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際規格である ISO27001 の認証を 2017 年 4 月 5 日付けで取得いたしました。

弊社では「機密書類と小型家電の収集運搬・保管・処分業務」を安心してお客様にお任せいただけるよう、万全な体制で取り組んでいます。

「平成29年度リサイクルシステム 統合強化による循環資源利用 高度化促進業務」における 「ガラス再生の資源としての 利用可能性調査」

「平成 29 年度リサイクルシステム統合強化による循環資源利用高度化促進業務」における「ガラス再生の資源としての利用可能性調査」として、本社及び東御営業所で太陽光パネルの回収を行いました。



『全ての廃棄物を再資源化』を目指して

直富商事は、金属スクラップ・車両解体・産業廃棄物および特別管理産業廃棄物の収集運搬処分、一般廃棄物の収集運搬処分、資源貿易に加え、廃プラスチック・古紙・古着等のリサイクル、食品廃棄物からの飼肥料製造、廃食油からのバイオディーゼル燃料製造、廃棄物処理の技術研究まで行う総合環境企業です。

動脈としてのインフラ整備が進み生活が便利になってきた反面、環境汚染が深刻化し、大きな問題となっています。限りある資源を守り、未来の子供たちが安心して暮らせる環境を次世代に受け継いでいくのが我々の使命であると考え、循環型社会の実現を目指し、社会に貢献しています。

『安全・遵法第一、営業第二』を行動指針として掲げ、『全ての廃棄物を再資源化』をモットーに、環境に配慮した取り組みを実現しています。

事業内容



金属スクラップ

金属スクラップを回収。加工後は電気炉メーカー等へ納入。
合併会社へ金属スクラップ等の原料の輸出。



産業廃棄物

産業廃棄物の収集及び中間処理。
リサイクル可能品目は中間処理後に再生利用。



古紙・機密書類

古紙類・機密書類の収集及びリサイクル。
機密書類は、専用倉庫で厳重管理の後に再生利用。



一般廃棄物

事業系・家庭ゴミの収集運搬及び処分。
個人宅の引越しゴミ・粗大ゴミの片付け、遺品整理・遺品査定サービス。長野市内のソファ・マットレス受入処分。



解体工事

ビル・工場・家屋等の建屋の解体及びガレージ・外構・設備等の解体工事。



ビルメンテナンス

ビル・建物等の設備管理、クリーニング等の清掃業務。



食品リサイクル

食品廃棄物の収集運搬及び飼料・肥料として再生利用。



技術研究・開発

環境分野におけるリサイクルを中心とした研究開発。環境計量証明及び廃棄物の性状分析。

事業拠点

本社・本社工場・本社第2工場

所在地：長野市大字大豆島3397-6

秋古(あきご)工場

所在地：長野市篠ノ井山布施字池之平 7618

苦桃(にがもも)工場

所在地：長野市七二会丁2736-3

環境整備部

所在地：長野市市場1-11

市場事業所

所在地：長野市市場8-4

松本営業所

所在地：松本市大字新村3322-1

東御営業所

所在地：東御市加沢字上川原138-1

東京営業所

所在地：東京都港区新橋 4-31-3
第三名和ビル 805

連雲港連富環保産業有限公司

所在地：中国江蘇省連雲港市
浦南開放区浦西路1号

直富長春事務所

所在地：中国吉林省長春市工農大路 2998
吉林省化工品進出口公司内



本社



本社工場



本社第2工場



秋古工場



苦桃工場



市場事業所



松本営業所



東御営業所

2017 年度朝礼委員会活動報告

朝礼委員会活動報告

活力朝礼

直富商事のスタートは、朝の活力朝礼から始まります。

弊社では、各部門の代表者で構成された「朝礼委員会」を中心として『活力朝礼』に力を入れております。

活力朝礼とは、活力・士気の高揚、方針の徹底、チームワーク・マナーの向上、情報共有を目的としており、毎朝各部門毎に実践し、職場の活性化と安全作業に繋がっています。

2017年度朝礼委員会年間目標

『朝礼委員が率先して職場で指導できるようにする』

任期 2 年目という事で昨年度から引き続き社員一人ひとりの意識を高めるために、まず朝礼委員自身の基本動作を身に付ける所から始めていきました。メンバーも一部入れ替わり、基礎を一から教えた上で各委員が各職場へ指導できる状態にするために基本動作の訓練等を実施しました。

朝礼委員長 戸谷昭彦

職場の朝礼チェック実施

朝礼委員が定期的に各職場をまわり、朝礼時の身だしなみや基本動作等の徹底に関し採点を行っています（チェック実施月：8月・2月 - 100点満点として採点）。

8月と2月の結果を比較し、全体の平均点は向上し、各職場の朝礼改善が見られましたが、各グループ毎に温度差があるため、全体的な底上げを図っていきます。

その中でも一般廃棄物回収を主体とする『環境部』はオリジナリティーに富んだ朝礼を実践しており、それが部門の目標達成と事故減少に結果として表れています。今後も良い部分を積極的に吸収し、風通しの良い職場を作り、朝礼を利用した更なる職場改善に努めていきます。

8 月度チェック結果一覧

順位	朝礼グループ	点数
1	佐久営業所	92
2	東御(事務・営業)	84
3	環境整備	84
4	環境部	80
5	東御(ドライバー)	80
6	管理系	78
7	環境部早出	77
8	営業統括	73
9	原料部	72
10	リサイクル工場	72
11	修理工場・技研	71
12	リサイクルドライバー	71
13	秋古ドライバー	71
14	秋古工場	67
15	原料ドライバー	67
16	苦桃工場	66
17	松本営業所	64

2 月度チェック結果一覧

順位	朝礼グループ	点数
1	環境部	84
2	浄掃	84
3	修理工場・技研	82
4	松本営業所	81
5	環境部早出	80
6	東御(ドライバー)	80
7	市場	80
8	環境整備	79
9	営業統括	77
10	管理系	76
11	原料部	72
12	リサイクルドライバー	71
13	秋古ドライバー	71
14	原料ドライバー	71
15	秋古工場	70
16	リサイクル工場	67
17	苦桃工場	58

朝礼教育訓練

中途入社社員へ朝礼の基本を学んでもらうため、随時朝礼特訓を開催しています。

2017年度は、各事業所で総勢10名に対して活力朝礼特訓を実施しました。全員が朝礼の意義と活力朝礼をマスターするように継続してこの教育を実施していきます。



朝礼強化週間

一日の始まりは元気な朝礼から。企業の活性化は朝のスタートが大切です。

明るく朗らかな挨拶で社員の気持ちを高め、心をひとつにして元気に明るく仕事に臨むため、活力朝礼強化週間を実施しました。

実施期間：7月10日～14日

●朝の挨拶強化

朝礼委員と幹部社員は、出社してきた職場の皆さんへ元気に挨拶・握手を行いました。

●ラジオ体操の強化

期間中に行うラジオ体操は、声を出して体操しました。

●各グループ毎の重点実施事項の推進

強化週間中はグループ毎に重点実施事項を決め、それに重点を置いた活動をしました。



外部講演会への参加

朝礼委員会の取り組みの一環として、長野市中央倫理法人会様が主催する倫理経営講演会へも積極的に参加させていただきました。このような事業体験報告を拝聴することによって各自の意識向上に努めました。

平成29年度 長野市中央倫理法人会 倫理経営講演会
大転換の時代——“新”に挑む——
 平成29年5月17日(水)
 ▶開場18:00 開演18:30 終了予定20:30
 長野市東部文化ホール
 長野市小島804-5 TEL026-296-8540
 参加費 お一人様 2,000円

講演
 講師 野中 寛治氏
 野中 寛治氏 経歴
 ●プロフィール
 長野県 長野市 1962年(昭和37年)7月 誕生
 1980年 社団法人長野県研究所に入社
 1989年 社団法人長野県 経営・文化研究所に入社
 1990年 長野市立中央図書館 主任
 2000年 長野市立中央図書館 館長
 2006年 長野市立中央図書館 館長
 2016年 11月 経営センター 特別顧問 就任

事業体験報告「今しかない即行・即止」
 吉川 和江氏
 吉川 和江氏 経歴
 ●プロフィール
 長野県 長野市 1958年(昭和33年)11月 誕生
 1980年 長野市立中央図書館 主任
 1989年 長野市立中央図書館 館長
 1990年 長野市立中央図書館 館長
 1996年 長野市立中央図書館 館長
 2000年 長野市立中央図書館 館長
 2006年 長野市立中央図書館 館長
 2016年 11月 経営センター 特別顧問 就任

長野市中央倫理法人会

遵法への取り組み

直富商事の社員一人ひとりが、倫理的なビジネスの遂行と法令の遵守について責任を負っています。

全ての役員及び社員が関係法令を遵守し、高い倫理観を持って社会的責任を果たすことが、社会から信頼される企業であり続けるために必要と考え、日々の業務で実践しています。

弊社では、コンプライアンスを浸透させることを目的に設置されたコンプライアンス室を中心として、定期的な勉強会の開催や法令改正時の周知徹底等を図っています。また、産業廃棄物に携わる業者としては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)」の遵守・徹底が不可欠ですので、コンプライアンス室で各営業所を巡視するなど、違反を未然に防ぐ対策を講じています。

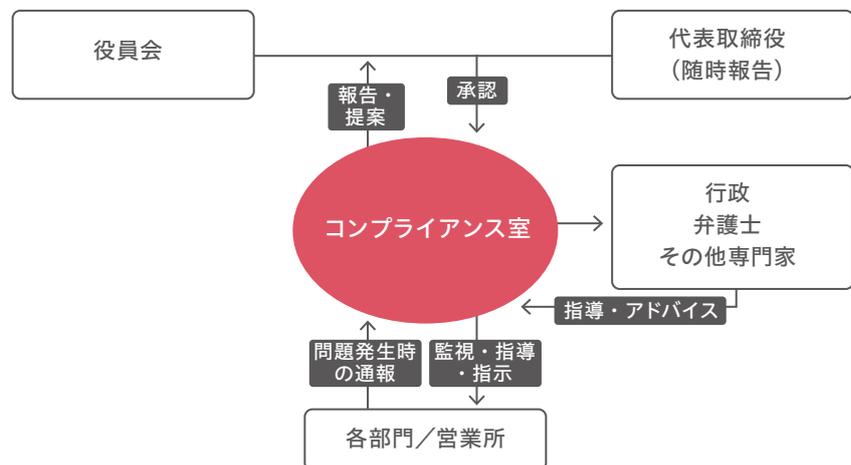
基本方針

1. 経営理念を具現化するために、社員への遵法・環境教育を充実させ、教育内容の周知徹底及び浸透を図る
2. 廃棄物処理法違反を起こさない

コンプライアンス推進体制

法令を遵守するため、コンプライアンスに関する問題や課題事項が発生した際は、コンプライアンス室に全て集約され、行政や弁護士、その他専門家からの指導を受け、早急な是正措置を行い、全社へ展開することで再発防止に努めます。

組織図



コンプライアンスの取り組み

社員一人ひとりのコンプライアンスへの理解と意識を深めることを目的として、定期的な遵法教育を実施しています。

教育内容が社員に浸透しているか確認するため、2017年度より理解度テストを実施しています。

テスト結果に基づき、理解度の低い項目については再度勉強会を実施するなど、継続的な取り組みを実施し、コンプライアンスの周知徹底に努めています。

また、コンプライアンス室でまとめた『遵法唱和』を毎日の朝礼で唱和することで、コンプライアンス意識の向上を図っています。

遵法唱和

第1条 | 作業指示書に記載の無い廃棄物は営業に確認の連絡をとります。

第2条 | マニフェストを受領したときには記載内容が適切か確認します。

第3条 | マニフェストは決められた事項を正しく記載し、収集運搬終了日及び処分終了日より10日以内に送付します。

第4条 | お客様の依頼であってもマニフェストに虚偽の記載はしません。

第5条 | マニフェストの無い産業廃棄物は受取りません、運搬しません。

第6条 | 廃棄物処理施設の維持管理の記録は正しく記録し3年間保存します。

第7条 | 産業廃棄物の許可車両には許可証、マニフェスト、電子マニフェスト加入者証を携帯します。

第8条 | 廃棄物の収集運搬にあたってはシート掛けの実行、スライドシャッターを閉め、飛散防止対策を確実に実行します。

第9条 | 可燃物の処理については発生場所市町村を越えた処理施設へ運搬しません。

遵法教育及び理解度テスト実施実績

[2017年度社内遵法教育実施状況]

勉強会名	開催月日	出席者数
遵法唱和項目の解説	3/9	51名
各事業所の法廷事項への対応	3/22	13名
営業マン対象の「委託契約書勉強会」	3/25	27名
廃棄物の概念、廃棄物処理法の目的	4/3、4/6、4/10、4/13、4/14、4/20、4/25	136名
廃棄物の分類、産廃と一廃の区分、業種指定	5/2、5/11、5/16、5/17、5/18、5/22	146名
廃棄物処理業の許可、自社の事業範囲	6/2、6/5、6/8、6/9、6/13	139名
罰則、欠格要件、両罰規程	7/10、7/11、7/18、7/20	107名
排出者責任、委託基準	8/17、8/21、8/22、8/24、9/7	130名
廃棄物処理法施行令等の改正(水銀)	8/28、8/30	85名
紙manifestの概要	9/4、9/11、9/12	97名
電子manifestの概要	10/6	41名
紙manifestの概要	10/10	13名
収集運搬の基準	11/6、11/9、11/13、11/14	82名
フロン排出抑制法	11/20	22名
manifestの運用(返送・保管)、帳簿	12/8	30名
廃棄物処理委託契約書他	1/19	27名
保管基準、事業所毎の事業範囲	2/2、2/18、2/20、2/22	38名
石綿含有廃棄物の適正処理	2/27	44名
倫理観、道徳観研修の実施<外部講師>	1/29、2/5	全社員



倫理観、道徳観研修

[理解度テストの実施状況]

理解度テストの主な内容	開催月	受講者数
産業廃棄物の定義、処理、委託基準、自社の事業範囲 他	6月	166名
維持管理記録、両罰規程、運搬基準、manifest全般	10月	91名
全国産業廃棄物連合会 能力テストより抜粋	2月	138名

遵法パトロールの実施

廃棄物処理法法定事項の現場における実践内容の評価を数値化し、実施率を算定。指摘事項があれば、コンプライアンス室で定めた期限に基づき、是正対策の結果・担当者・完了日をコンプライアンス室に報告し、コンプライアンス室で再度是正箇所の再チェックを行うことで、違反を未然に防ぐ体制を構築しています。

反社会的勢力排除の取り組み

弊社は、全国暴力追放運動推進センターとも連携し、反社会的勢力との一切の関係遮断、反社会的勢力に関わる被害防止や適切な対応実施のための組織的な体制強化に努めています。弊社コンプライアンス室を専門部署とし、反社会的勢力からの接触があった際には、必要に応じて警察と連携し、毅然とした対応を行っております。

優良産廃処理業者認定制度

通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査して認定する制度『優良産廃処理業者認定制度』があります。

弊社では、長野県より産廃・特管収集運搬業、長野市より産廃・特管収集運搬及び産廃・特管処分業の優良認定を受けております。

東京都優良性適合基準認定

東京都における産業廃棄物処理業者の優良性基準適合認定制度要綱に基づき、第三者期間である公益財団法人東京都環境公社が優良性の該当可否を審査する制度です。

弊社は「収集運搬業」の区分で「産廃エキスパート」の認定を受けております。

チェック事項

- 1) 備付書類の確認
- 2) 保管場所、保管量の確認
- 3) 緊急時対応マニュアル・連絡体制
- 4) 作業環境及び安全対策
- 5) 二次委託先
- 6) 施設の維持管理記録
- 7) 帳簿
- 8) 最終処分場対応
- 9) manifestの保管

安全衛生への取り組み

直富商事は『安全第一』を行動指針の第一に掲げ、全社員の安全意識の維持向上を図り、安全で快適な職場環境づくりに努め、無事故・無災害を目指した取り組みを行っています。

基本方針

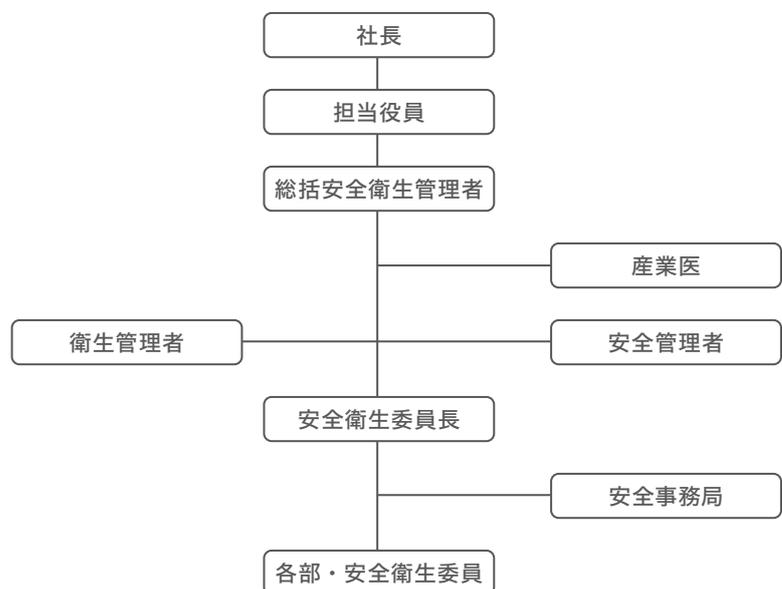
- ・事故を起こさない、社員に怪我をさせない
- ・安全衛生活動のレベルアップ

安全衛生管理体制

職場の安全衛生を確保するため、各部門から選出されたメンバーで安全衛生委員会を構成しています。

毎月1回委員会を開催し、委員会メンバーを中心に「ヒヤリハット」や「リスクアセスメント」の活動を展開しています。ヒヤリハットや過去の事故事例の教訓等を活かし、労働災害の未然防止と作業改善に向けた活動に取り組んでいます。

安全衛生委員会 組織図



安全衛生の取り組み

2017年度は、社員から公募した『慌てず、無理せず、しっかり確認 2秒のゆとりで安全第一』をスローガンとして、毎日の朝礼で唱和し、安全意識の向上を図っています。

全社員一丸となって事故・災害ゼロを目指し、安全大会の開催や安全衛生教育、産業医健康相談を定期的に行うなど、労働災害の未然防止と意識啓発に努めています。

安全大会については、従来本社サイトと秋古工場の2つのグループに分けて開催していましたが、2017年度より、本社の「環境部」と「清掃グループ」を本社サイトとは別に開催しました。部門(職種)を細分化することで、情報の共有化を図り、事故防止に繋がっています。

2017年度事故防止の取り組みとその成果

事故防止の取り組み(3本の柱)

(1)再発防止

原因を正確に把握し、効果があって実行可能な対策を実施する。

(2)予防対策

①KY活動 運転・作業の中に潜んでいる危険を予知し、それを回避する。

②リスクアセスメントの取り組み

リスクアセスメントの手法により、作業中のリスクを把握・評価し、リスクのレベルを低減する。

③5S活動 5S活動を推進することにより、作業場の不安全状態を取り除く。

④他山の石の活用 他企業等で発生した事故を教訓とし、同種の事故を起こさない。

(3)社員の意識の向上

社員一人ひとりが、事故を起こさないという強い意識を持つ。

取り組みの成果により、2016年度と比較して、全体で26%事故が減少しました。

引き続き、労働災害の根絶を目指して取り組んでまいります。

安全教育実施実績

[2017年度安全教育実施状況]

教育内容	開催月日	出席者数
事故防止教育	随時	65名
防災訓練(苦桃工場、松本営業所)	4/13、6/9	14名
特別教育-石綿作業教育	4/28、5/10、5/22、7/27	30名
特別教育-刈払機取扱い教育	5/18	2名
特別教育-アーク溶接	5/23	4名
安全運転教育	6/15	16名
安全大会(本社、秋古工場、環境部、浄掃グループ)	6/12、6/27、6/29	151名
運転適性検査体験	9/12～9/15	42名
KYT教育	9/12、10/16	16名
安全体感研修(社外研修)	7/13	4名



安全大会(本社)



安全体感研修

シートベルト着用チェック

従業員の通勤時のシートベルトチェック(運転中の携帯電話使用も併せてチェック)を実施しました。

残念ながら、実施日すべて着用率100%という結果には至りませんでしたので、指導を強化し、来年度は着用率100%を目指します。

実施日	チェック台数	着用率
4/6	116台	98%
7/24	85台	96%
9/22	112台	100%

ドライバー添乗指導

ドライバーの技能向上と安全意識を高めることを目的として、安全管理者が不定期に同乗し、業務指導を行っています。

対象部門：環境部、原料部、リサイクル部、秋古工場、東御営業所、松本営業所

1. チェック事項

- 1) 準備
- 2) マナー(挨拶)
- 3) マナー(服装)
- 4) 運転技術
- 5) 収集作業
- 6) 運転室の5S
- 7) 掲示物等の実施状況

2. 指導事項

- 1) 運転・作業中での安全上の注意事項
- 2) 過去に発生させた事故に対する対策等の実施状況のチェック

環境への取り組み

直富商事では、環境保全活動を推進するために、ISO14001 にのっとった環境マネジメントシステムを構築・運用しています。

廃棄物を扱う企業として環境負荷の抑制と保全を最重要課題の一つとして位置付け、「環境方針」に基づき、常に環境への影響に配慮し、あらゆる事業活動において、環境保全対策を推進し、環境保護や資源の再利用に努めます。地域と地球の環境保全を積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献します。

環境マネジメントシステム

環境保全に貢献するため、2001年にISO14001を取得し、環境マネジメントシステムの向上に取り組んでいます。

環境方針

基本理念

直富商事株式会社は、循環型社会の担い手として、“安全はすべてに優先する”、“美と心地よさを残す”の企業理念に基づき、人間の社会活動と地球環境の保全との調和に貢献することを目指すとともに、自らが及ぼす環境への負荷を軽減し、もって地域住民との協調を図ります。

当社の事業活動が環境に与える影響を考慮し次の項目を重点事項として取り組みます。

- ①お客様の環境負荷の低減の為にあらゆる廃棄物の再資源化に取り組み、循環型社会の形成に寄与します。
- ②省資源・省エネルギーを推進します。
- ③大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の環境に与える影響を低減し、環境汚染の防止を図ります。
- ④花と緑に囲まれた工場を創造・維持し、地域環境との調和を図ります。

内部監査と定期審査

ISO14001規格への適合性や、PDCAサイクルが機能しているかを確認するために、年1回内部監査を実施しています。各部門から選出された代表者が内部監査員となり、他部門を内部監査し、是正事項の確認をする体制をとっています。なお、2017年度は1年次の定期審査に該当し、審査を受け、登録認証の更新が認められました。

2017年度環境保全目標と実績

《2017年活動実績と2018年度事業計画(抜粋)》

活動項目	2017年度		達成度	2018年度目標
	目標	実績		
産業廃棄物から軟質プラスチック分別収集によるリサイクル率アップ	180万円/年	129万円/年	△	中国環境問題により有価対応見直し
雑古紙から新聞分別によるリサイクル率アップ	雑誌より新聞紙を10t/月分別	151t/年	◎	新聞紙120t/年
騒音レベル67dB以下又はクレームゼロ	クレームゼロ	クレームゼロ	◎	クレームゼロ
エコドライブの推進	93台/93台	93台/93台	◎	-

環境汚染・水質汚濁・騒音等の防止対策と各種環境データ

工場における環境保全対策として、大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等の項目を定期的に測定・分析し、環境へ及ぼす影響の把握に努め、適正管理を行っております。

法令に準じた基準値を設け、測定結果全ての基準を遵守しています。

周辺住民の方や従業員への健康被害を及ぼすことのないよう徹底管理しております。

環境測定データ

排ガス関係（ばい煙発生施設：秋古工場廃棄物焼却炉、苦桃工場蒸気ボイラー）

測定項目名【単位】	排出基準	秋古工場廃棄物焼却炉
		2017年10月10日 (ダイオキシン類と臭気指数は同年3月1日)
ばいじん量酸素補正值【g/m ³ 】	0.25	測定下限値0.002未満
硫黄酸化物排出量【m ³ /h】	5.0	測定下限値0.1未満
窒素酸化物量酸素濃度【c m ³ /m ³ 】	法的基準なし	33
塩化水素量酸素補正值【mg/m ³ 】	700	測定下限値37未満
ダイオキシン類【ng-TEQ/m ³ 】	10	0.073
臭気指数	自主30	20

測定項目名【単位】	排出基準	苦桃工場蒸気ボイラー
		2017年7月24日
ばいじん量酸素補正值【g/m ³ 】	0.3	0.001
硫黄酸化物排出量【m ³ /h】	1.7	0.058
窒素酸化物量酸素濃度【c m ³ /m ³ 】	260	70

工場敷地境界・周辺の臭気測定結果

測定項目名【単位】	基準	苦桃工場風下周辺環境	東御営業所風下敷地境界
		2017年10月16日	2018年2月16日
臭気指数	法的基準なし	測定下限値10未満	—
スチレン【ppm】	0.8	—	測定下限値0.03未満

工場敷地境界・周辺の臭気測定結果

測定項目名 【単位：mg/l% (pHは無単位)】	基準	本社工場 北側	本社工場 南側	秋古工場	市場事業所 洗車場	苦桃工場	東御 営業所
		2017年12月20日	2017年12月20日	2018年2月19日	2017年8月25日	2017年4月12日	2018年2月16日
水素イオン濃度 (pH)	5.8~8.6	7.0	7.0	6.5	6.5	7.4	6.7
生物学的酸素要求量 (BOD)	160	1.1	2.9	1.8	6.3	0.7	—
浮遊物質 (SS)	200	<1	1	15	1	<1	12
ノルマルヘキサン抽出物 (鉱油類)	5	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0
ノルマルヘキサン抽出物 (動植物油脂類)	30	<1.0	1.8	<1.0	1.7	<1.0	<1.0
カドミウム	0.03	—	—	<0.005	—	—	—
シアン	1	—	—	<0.01	—	—	—
鉛	0.1	—	—	<0.05	—	—	—
六価クロム	0.5	—	—	<0.02	—	—	—
ひ素	0.1	—	—	<0.002	—	—	—
水銀	0.005	—	—	<0.0005	—	—	—
1, 1, 1-トリクロロエタン	3	—	—	<0.0005	—	—	—
トリクロロエチレン	0.1	—	—	<0.002	—	—	—
テトラクロロエチレン	0.1	—	—	<0.0005	—	—	—
ほう素	10	—	—	0.2	—	—	—
ふっ素	8	—	—	0.23	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100	—	—	2.8	—	1.2	—

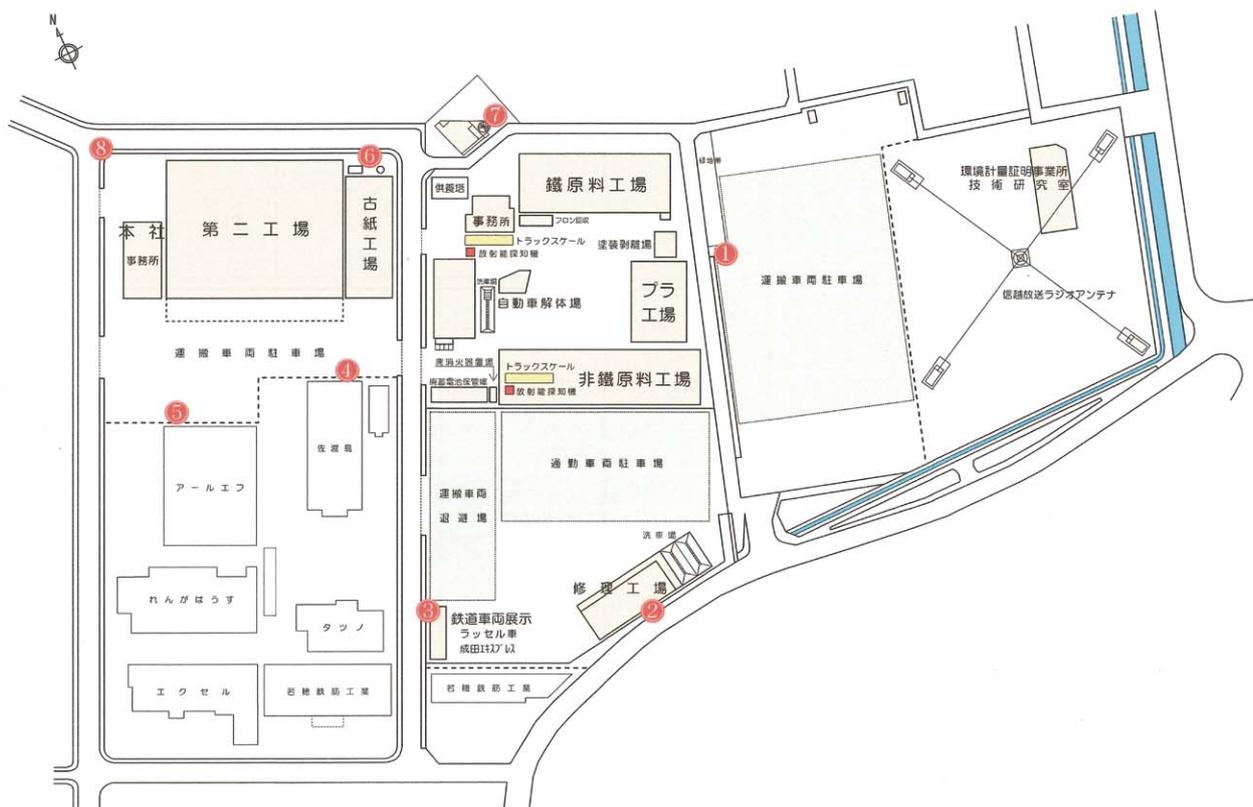
※<は、定量下限値未満を示します。

環境への取り組み

工場敷地境界・周辺の騒音・振動測定結果

測定項目名【単位】	本社工場敷地境界								秋古工場周辺	苦桃工場敷地境界	東御営業所					
	2018年2月20日								2018年2月19日	2017年4月12日	2018年2月16日					
	自主基準：騒音67、振動70								騒音環境基準：60 振動保全目標：65	自主基準：騒音65				規制基準：騒音70、振動70		
	測定地点※									測定地点				測定地点		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		東	西	南	北	1	2	3
騒音【dB (A)】	63	47	52	62	54	58	57	50	49	52	51	64	49	59	59	57
振動【dB】	56	43	44	46	48	55	58	41	測定下限値30未満	—	—	—	—	33	33	42

※本社工場騒音・振動測定地点



環境負荷低減の取り組み

LED照明の導入

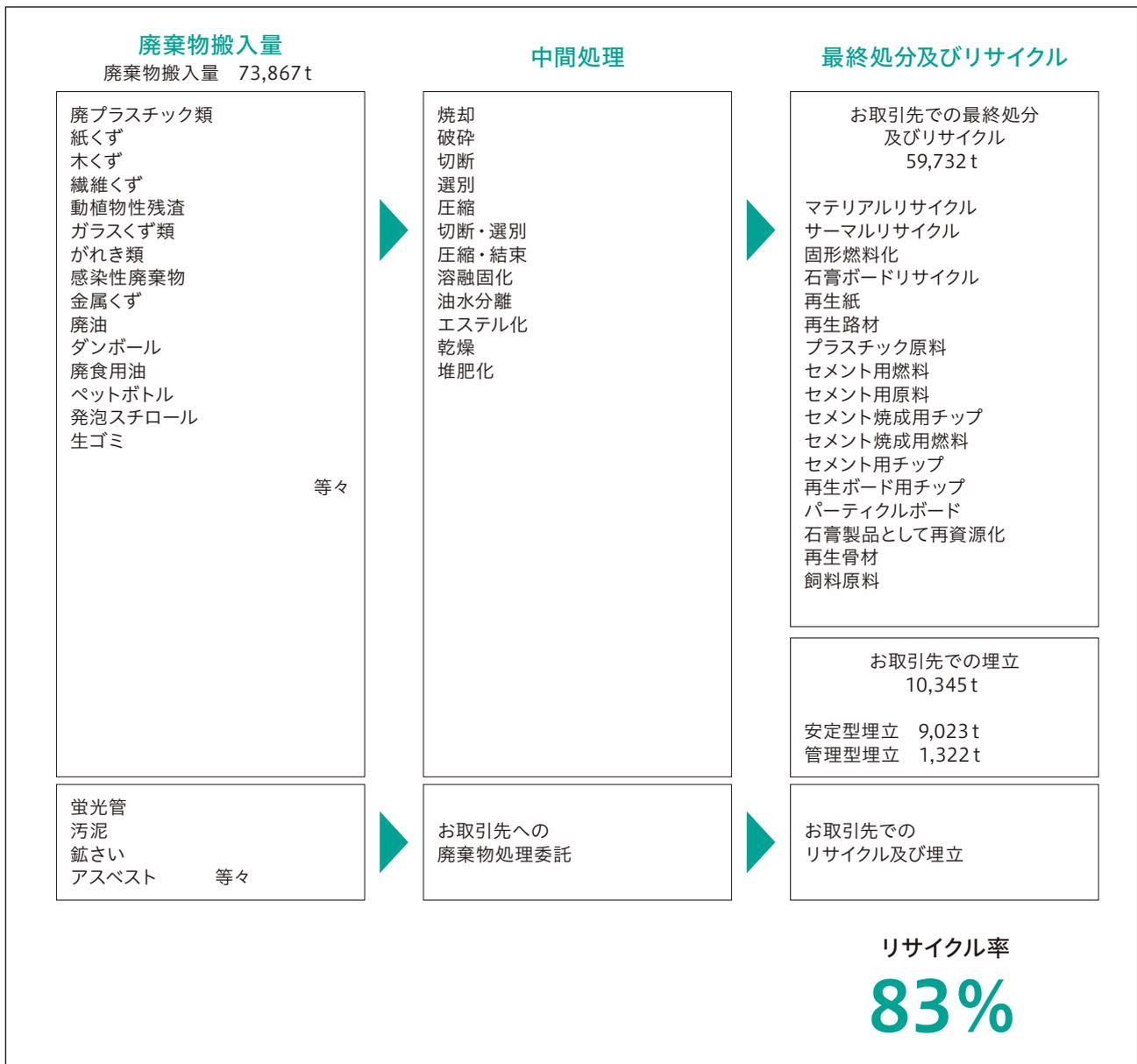
抜本的な省エネ対策として、LED照明を導入しました。これにより、CO₂排出量とランニングコストを1/3まで抑えることが可能となります。

今回は本社・本社工場・市場事業所の各事務所を対象に入替を行いました。他部署への展開も今後検討してまいります。

なお工場の照明には、広い空間全体を明るくしてくれ、LEDと同等の消費電力且つ長寿命の無電極ランプ「エコ太郎」を導入しております。



全社廃棄物取り扱い実績



太陽光発電システムの導入

第二工場の屋根に太陽光パネル 270 枚を設置し、2014 年から発電を開始しています。

最大出力 51.3kW 規模の発電を行い、年間 17,182kg の CO₂ を削減するとともに、年間 12,402ℓ の石油使用を削減し、環境保全に貢献しています。

過去の数値や詳細は、ホームページの太陽光発電ページにてご覧いただけます。

<http://www.naotomi.co.jp/service/solar.php/>

	発電量	石油使用削減量	二酸化炭素削減量	森林換算面積
2017 年度	58,861kWh	13,361L	18,512kg-CO ₂	16,309 m ² / 年

直富商事の業務は、地域社会や人々の生活と密接に結びついています。

経営理念である「地域に愛され、必要とされる会社とする。」をモットーに、地域の皆さまとの相互理解に努め、良き企業市民として地域コミュニティとの交流を深め、良好な企業活動や積極的なコミュニケーションを図り、社会とともに発展していきたいと考えています。

皆さまからの「笑顔」と「ありがとう」を原動力に、地域社会の活性化と発展に貢献します。

社会貢献活動内容

工場見学



近隣住民の方々をはじめ、小学生の社会見学、民間企業や各種団体、行政機関等の皆様を対象とした工場見学を随時行っております。2017年度は、1,500名の方が見学されました。

リサイクルの仕組みや処分技術を学ぶことができ、適正に処理していることを確認していただけるように工場施設を一般公開しております。

ご要望に応じて、地域の学校へ社員を派遣し、環境学習の一助となる『出前授業』も随時開催しています。

環境保全懇談会



地元の方々より意見・要望等をお聞きする意見交換の場として事業所毎、「環境保全懇談会」を定期的に開催しています。

直近1年間の行政報告や今後の事業計画及び騒音・振動・水質などの分析データ報告等も行っています。

今年は通常の報告に加えて直近の事業計画に掲げた本社工場における施設の移設計画、秋古工場における許可取得計画等の事業計画概要について該当する関係者の皆様にご説明し、ご意見、ご指導を賜りました。

地域清掃ボランティア



毎週木曜日を「清掃環境の日」と命名し、全社員が社屋周辺の掃き掃除やゴミ拾いなどを自主的に行い、環境汚染と景観悪化の防止に努め、地域の美化活動に取り組んでいます。

また春と秋の年2回、地元で行われる「クリーン作戦」に参加し、地元の皆様と共に道路清掃や側溝・河川のゴミ回収等を行い、地域コミュニケーションの活性化にも役立っています。

地域行事への参加



毎年7月に開催される地元の伝統ある夏祭り「大豆島甚句祭り」に直富連として毎年参加しています。地域の皆様と一緒に踊り、一緒に汗をかくことで交流が深まり、毎年笑顔あふれるひとときを過ごさせていただいております。

38回目となる今年は、38名の社員が参加しました。

あいにく小雨の降中での開催でしたが、雨にも負けず、元気に踊りを楽しみました。

中学生職場体験学習



地元の中学生 2 名を受け入れ、職場体験を行いました。日々の仕事に触れてもらうことで、働くことの意味や大切さを実感し、社会性を身に付け、自分の将来の職業や進路を考えるきっかけ作りに協力させていただいております。

環境イベント



地球温暖化防止や省エネルギーなどの環境保全をテーマとした環境イベントに毎年出展し、日頃からの環境保全活動をPRしています。

～出展実績～

- ・2017 信州中野環境祭

資源回収



本社の地元区である長野市立大豆島小学校 PTA 様主催の資源回収に協力させていただきました。こちらは毎年の恒例行事となっており、春と秋の 2 回開催しております。

資源物(新聞・雑誌・ダンボール・牛乳パック・古着・缶・ビン)回収のご依頼があれば、場所や量の大小に関わらず対応いたしております。

限りある資源をごみとして捨てず、資源として再利用するためのリサイクル活動を進めています。

国際交流



2004 年、中国河北省石家庄市贊皇県孤山村に小学校を建造寄付し、日中友好の懸け橋となるよう『直富希望小学校』と命名されています。毎年春に希望小の生徒を中心に 5 名前後を日本に招くとともに、毎年 6 月にはこちらの社員代表団が訪中することで交流しています。

国道の環境美化



社員の有志で、弊社秋古工場に隣接する国道 19 号線長野市篠ノ井山布施沿いの花壇へ年 2 回夏と秋に花の植替えを行っています。地域や企業等が実施団体となり、長野市及び国土交通省長野国道事務所が協力して、道路清掃及び植樹管理を行い、道路の清掃・緑化・美化に努める活動『ボランティア・サポート・プログラム活動』に賛同し、弊社も積極的にこのプログラムを推進しています。国道 19 号線沿いだけに留まらず、花が咲き誇る美しい地域を目指して全社で花いっぱい運動活動を推進しています。

地域スポーツへの貢献



【信越硬式野球クラブ】

長野市の社会人野球チームである『信越硬式野球クラブ』の投手を正社員として受け入れております。

過去に都市対抗野球本大会に 22 回の出場、日本選手権本大会に 14 回の出場を果たしています。(NTT信越時代含む)

2017 年シーズンは、都市対抗野球、日本選手権ともに予選で敗退し、本大会への出場を逃してしまいましたが会社を挙げて応援しています。

社員は直富商事にとっての最大の財産であり、経営理念に掲げている「社員が物心共に幸福と思える会社とする。」ために、社員の多様性、人格、個性を尊重し、誰もが能力を発揮して、いきいきと働ける職場づくり、仕事と生活の両立を図っていただける職場環境づくりを目指しています。

人材の育成

企業の成長の源泉は人材にあると考え、プロフェッショナルな人材の育成を目指して、新入社員教育をはじめ、階層別職種別研修などを通じて人材の育成に力を入れています。

社内・社外セミナー実施状況

研修名	開催月
【共通】幹部・一般社員倫理セミナー	3月、4月
【管理者】ビジネスリーダー育成をめざすワークショップ	4月～10月
【管理者】幹部候補生スクール	5月～11月
【階層別】部門長・課長研修	3月～8月(計6回)
【階層別】係長研修	3月～6月(計3回)
【新入社員】新入社員倫理セミナー	3月
【新入社員】新入社員教育実践セミナー	4月
【新入社員】新入社員フォローアップ研修	11月
【職種別】営業の基本と実務セミナー	6月

2017年度社外講習会受講・各種資格保有状況

資格・免許	人数
第一種運転免許 大型自動車	82名
第一種運転免許 大型特殊自動車	30名
第一種運転免許 けん引	11名
安全運転管理者	7名
衛生管理者免許(衛生工学・第一種・第二種)	11名
クレーン・デリック運転士免許	6名
移動式クレーン運転士免許	5名
乾燥設備作業主任者技能講習	4名
はい作業主任者技能講習	4名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	11名
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	10名
有機溶剤作業主任者技能講習	18名
石綿作業主任者技能講習	10名
ガス溶接技能講習	37名
フォークリフト運転技能講習	149名
玉掛け技能講習	105名
車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習	55名
車両系建設機械(解体)運転技能講習	27名
床上操作式クレーン運転技能講習	38名
小型移動式クレーン運転技能講習	59名
高所作業車運転技能講習	16名
冷媒回収技術者	7名
解体工事施工技士	6名
1級土木施工管理技士	3名
2級土木施工管理技士	3名
一般廃棄物実務管理者講習	24名
産業廃棄物収集運搬課程	144名
産業廃棄物処分課程	71名
特別管理産業廃棄物収集運搬課程	15名
特別管理産業廃棄物処分課程	11名
特別管理産業廃棄物管理責任者	31名
遺品査定士	1名
遺品整理士	1名

人事評価制度

社員のモチベーションを高く保ち、楽しく且つやりがいを持って仕事に取り組める職場環境づくりを目指して、目標管理システムに基づく人事評価制度を採用しています。

自分の役割や責任を理解した上で業務遂行目標を設定し、毎月上司と部下が面談を通じて目標に対する計画や業務の達成状況等のプロセスを振り返り、その能力や業績、成果に応じて公正に評価・処遇するとともに、その評価を更に社員の成長へと繋がる仕組みづくりを目指しています。

ワークライフバランスの推進

ワークライフバランスを重視し、仕事と家庭の両立ができる環境を整え、個々の能力を最大限に発揮し、仕事の成果を生み出せる職場環境づくりを目指しています。

両立支援制度

法律に基づき、妊娠から子育て中の社員、家族を介護している社員への支援に努めています。

産前産後休業制度・育児休業制度・子の看護休暇制度・介護休業制度・介護休暇制度を導入しておりますが、社員一人ひとりが安心して働けるように、制度の利用促進と働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

イクボス・温かボス(あったかボス)宣言

「イクボス・温かボス宣言」とは、男性も女性も安心して子育てや介護をしながら、いきいきと仕事ができるよう、組織のリーダーや管理職等が自ら「職員の仕事と生活の両立支援」を宣言することにより、働きやすい職場づくりを推進するものです。

弊社も2017年5月1日付で、代表取締役社長が同宣言を行い、続いて各部署のリーダーも部内で宣言を行いました。

イクボス・温かボス宣言

1. イクボス・温かボス宣言内容
私は、従業員が安心して子どもを産み育てることができ、子育てや介護等の家庭生活と仕事を両立していくことができるように、ワーク・ライフ・バランスの構築を図り、従業員の仕事と子育てや介護との両立を支援していくことを宣言します。

2. イクボス・温かボス 取組み内容
・業務の効率化をさらに進め、時間外労働時間を減少させる。
・従業員が育児休業などを取得し易い風通しの良い会社を目指す。
・従業員とのコミュニケーションの場を通して、配慮すべき事項を把握する。

3. イクメン・イクウイメン宣言内容
私は、業務の効率化を心がけ、仕事と子育てや介護等との両立を実践していくことを宣言します。

2017年5月1日
直営商事株式会社 代表取締役


NAOTOMI
直営商事株式会社

社員の子育て応援宣言

2018年1月9日付で長野県の「社員の子育て応援宣言」に登録いたしました。この制度は、経営トップが従業員の仕事と子育ての両立を支援するための具体的な取り組みを宣言し、県に登録するものです。子育てしやすい環境を整備し、男女共に安心して育児に取り組める環境づくりを目指しています。

【宣言内容】

- 育児休業規程を積極的に周知し、取得しやすい雰囲気作りに努めます。
- 子どもを持つ社員の学校行事やPTA活動への参加を推奨します。

(登録番号: 1223)

「社員の子育て応援宣言」登録証

住 所 長野市大島島3332番地
名 称 直営商事株式会社
代表者氏名 代表取締役 木下 繁夫

貴社は、従業員の仕事と子育ての両立を支援するために、次の取組みを行うことを宣言しました。

宣 言 内 容

- 育児休業規程を積極的に周知し、取得しやすい雰囲気作りに努めます。
- 子どもを持つ社員の学校行事やPTA活動への参加を推奨します。

【有効期間: 平成30年1月9日～平成32年1月8日】

平成30年1月9日
長野県知事 阿部 守 

健康増進への取り組み

1. 健康診断の実施と保健指導の充実

定期健康診断受診率 100%を堅守しています。

定期健康診断受診時に法定外健診の一部項目を社員自らが選択することとし、自分自身の生活習慣を見直し、健康への意識醸成を図ることを目的とした取り組みを展開しています。

また、定期健康診断結果に基づき、事後保健指導を実施しています。

2. メンタルヘルスケアの充実

社員が悩みを抱え込まないよう、いち早く相談できる体制を構築するため、社内外にメンタルヘルス相談窓口を設置して、産業保健スタッフを中心に、職場・医療とも連携可能な相談体制を構築しています。

産業医や保健師による相談、社外メンタルヘルスカウンセリングの専門医によるメールや電話相談窓口を設けて、心の健康保持増進のためのメンタルヘルス対策を実施しています。

3. 長時間労働改善のための取り組み

ワークライフバランスと従業員の健康管理の観点から、労働時間管理対策を実施しています。

出退勤システムを利用することで、上長が部下の出退勤情報をパソコン画面上で把握・管理出来るようになり、一定時間を超える時間外労働についてはアラートを出す仕組みにしています。時間外労働の際は事前申請を義務付け、過重労働の防止や長時間勤務の抑制を図っています。

また長時間労働を抑制し、プライベートな時間を大切にしてもらうことを目的として、毎週水曜日をノー残業デイと定め、定時退社する取り組みを実施しています。

働きがい向上のための取り組み

1. 自己啓発資格取得応援制度

社員が自発的に社会人としてのスキルアップのために資格等の取得に取り組むことを奨励・支援する制度を導入しました。

社員自ら学ぶことで、組織の活性化や社員の成長意欲向上の効果を目的としています。

【対象資格】

日商簿記検定
秘書検定
品質管理検定(QC検定)
中国語検定
日商PC
ITパスポート試験

2. 社員表彰制度

① 永年勤続表彰

永年勤続表彰は、永年勤続 10 年・20 年・30 年・40 年に該当する会社へ貢献した社員を表彰しています。

② 年間優秀社員表彰

社員のやる気を促すことを目的として、2015 年度より最優秀社員表彰制度を導入しました。

各分野で活躍する優秀社員への表彰を行っています。

最優秀社員



長岡 晶男さん
nagaoka akio

優秀ドライバー



宮崎 啓太さん
miyazaki keita



神田 哲也さん
kanda tetsuya



北澤 秀夫さん
kitazawa hideo



水津 勝利さん
suitsu katsutoshi



小出 玄嗣さん
koide genshi

優秀ヤードマン



長針 満さん
nagahari mitsuru



村松 岳さん
muramatsu gaku



上田 和也さん
ueda kazuya

優秀事務員



田村 真由美さん tamura mayumi
清水 絵梨さん shimizu eri
小川 和美さん ogawa kazumi

③年間安全表彰

年間を通じて安全衛生に係る改善・改革等が特に優れ、労働災害の減少を図り、他のグループの模範と認められる優れた部門を表彰しています。

【無事故表彰】

市場事業所／苦桃工場／リサイクル工場／技術研究室

【特別表彰】

環境部

④安全運転報奨金制度

車両を使用するドライバー職社員及び営業職社員の更なる安全運転意識向上を期待して、運転免許更新時に優良運転者としてゴールド免許(優良運転者免許証)を交付された場合に報奨金を贈る制度を2017年11月1日より創設しました。

友好会による各種イベント、募金活動、資源物回収、その他活動

社員親睦会である『友好会』を結成し、社員が主体となって毎年様々な行事を企画運営しています。また、ボランティア活動にも力を入れており、幹事を中心に積極的に活動しています。

今年度の活動内容は下記の通りです。

≪ 2017 年度活動内容 ≫

開催月	活動内容
3月	スキー&ボード大会
4月	お花見&BBQ大会
6月	社員旅行 浅草・石和温泉／仙台／有馬温泉
7月	ゴルフコンペ
9月	友好会総会・懇親会
11月	ゴルフコンペ
12月	会社忘年会に協賛
2月	ボーリング大会
通年	エコキャップ回収、エコターミナル設置(資源物回収) 震災時の募金活動



社員旅行(仙台)



ボーリング大会

その他活動

士気高揚と社員相互の親睦を深めることを目的として、社員が自主的にサークル活動を行っており、各種大会に向けて活動し、活躍しています。

また本社の一角に『直富農園』と呼ばれる農園があり、こちらで、社員の有志が、趣味とボランティアで毎年たくさんの野菜を作っています。



直富農園

Save the Earth.



全ての廃棄物の
リサイクル化を目指していきます。

鐵の木下 直富商事株式会社

本社 / 〒381-0022 長野県長野市大豆島3397番地6
TEL:026-222-1880 FAX:026-222-1881
<http://www.naotomi.co.jp>